



2022年9月12日

各位

会社名 株式会社シャノン
 代表者名 代表取締役社長 中村 健一郎
 (コード: 3976 東証グロース)
 問合せ先 取締役 経営管理担当 友清 学
 (TEL. 03-6743-1551)

2022年10月期通期連結業績予想値、個別業績予想値の修正に関するお知らせ

2021年12月13日に公表いたしました2022年10月期(2021年11月1日~2022年10月31日)における通期連結業績予想値、個別業績予想値を下記の通り修正することをお知らせいたします。

1. 2022年10月期の連結業績予想の修正

(1) 2022年10月期(2021年11月1日~2022年10月31日)の連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,930	65	66	29	9.89
今回修正予想(B)	2,480	△256	△247	△248	△84.56
増減額(B-A)	△450	△321	△313	△277	—
増減率(%)	△15.4	—	—	—	—
(参考)前期実績 (2021年10月期)	2,196	11	52	107	36.83

(2) 修正の理由

広告事業に関しては、後藤ブランド(株)が新たに連結範囲に含まれることとなった影響もあり期初の想定を上回る見通しであります。その他の事業については以下に記載の理由により期初の想定を下回る見通しとなりました。事業ごとの具体的な修正内容については、別途本日開示の「2022年10月期 第3四半期決算補足説明資料」をご参照ください。

(メタバース事業)

営業活動を行う中で、大型イベントの受注を獲得するにあたっては、顧客が求める機能が一部不足していることもわかり、今後の拡販に向けて対応を予定していますが、当期中は対応が間に合わず、大型イベント案件の受注を想定どおりにすすめることができなかったことが主な要因となります。

(イベントクラウド事業)

新型コロナウイルス感染症の第7波等の影響により、リアルイベント案件の受注に苦戦したことが主な要因となります。

(サブスクリプション事業)

当期より新市場として挑戦しているパブリックセクター向けの営業の立ち上がり、ソリューションの市場適応に想定以上に時間を要したことや自治体の予算獲得時期のずれもあり、大幅に遅延したこと、新規案件獲

得から発生するプロフェッショナルサービス売上の単価が想定以上に下落したことが主な要因となります。

2. 2022年10月期の個別業績予想の修正

(1) 2022年10月期(2021年11月1日~2022年10月31日)の個別業績予想数値の修正

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,786	百万円 76	百万円 36	百万円 12.28
今回修正予想(B)	2,400	△150	△181	△61.68
増減額(B-A)	△386	△226	△217	—
増減率(%)	△13.9	—	—	—
(参考)前期実績 (2021年10月期)	2,206	46	86	141

(2) 修正の理由

今回の修正としましては、連結業績予想の修正理由(メタバース事業と後藤ブランド(株)の影響を除く)に記載した内容と期中に行ったヴィビットインタラクティブ(株)の吸収合併処理に際して発生した抱合せ株式消滅差損の発生の影響により、売上高、経常利益、当期純利益ともに前回予想値を下回ることとなりました。

以上